

新「共通特論 I」：臨床腫瘍学総論 「創薬研究に求められる研究倫理」

講義日：2023年6月17日（土）

講師：福岡 和也（近畿大学病院 臨床研究センター 教授）

要旨

近年、健康に対する医療ニーズが多様化・複雑化する中で、新規医薬品の開発が急速に進んでいるが、依然として多くのアンメット・メディカル・ニーズが存在する。これらの課題解決に向けて、研究者は、イノベーションの創成を通じて有益で安全な医薬品を開発・提供するための研究開発活動を展開している。新規化合物を初めてヒトに投与する First-in-human 試験、創薬シーズ等を実用化へと繋げる臨床研究、新しい標準治療確立のための臨床試験等には、医師のみならず、薬剤師、看護師等の多職種の医療従事者が積極的に参画することが必要不可欠である。「人を対象とする生命科学・医学系研究」において、研究対象者の福利は、科学的及び社会的な成果より優先されなければならない。臨床研究の実施に携わる全ての者は、研究倫理指針の基本方針を十分に理解した上で、社会に信頼される、安全で質の高い臨床研究を遂行することが求められる。